男女共同参画セミナー

女性の不思議とステキ

久高　学氏
（那覇市立病院外科部長）

まずは、自分の方から「与える」「差し出す」ことだと思います。
絵本の「大きな木」は、与えるだけの「無償の愛」がテーマですが、教えられることが多いですね。

6月27日、ハーモニーセンターで、市女性団体連絡協議会との共催で「女性の不思議とステキ」と題して、久高学氏による講演会が行われました。講演会は、サックスアンサンブル「ソリア・イルゾ」のミニコンサートで始まりました。久高氏のユーモアーを交えながらの歯切れの良い口調で語る話に、参加者はお腹を抱えて大笑いでした。また、「大きな木」の朗読では、静かな感動が会場内にあふれていました。

講演会の一部を紹介いたします。

女性脳と男性脳は違います

女性のおしゃべりには、特徴があります。話題もあちこちに移ります。食事の話をしていたのかと思えば健康の話題に移り、かと思えば子どもの教育の話、友人の話と自由自在に移ります。男性は、一つの話題が完結してから、次の話題に移る、これが男性のやり方です。ですから、急に話題が変わる女性との話に、男性がいらいらしたり、いつ終わるともしれない、おしゃべりにつきあいきれずに、投げ出したくなるのです。実は、このような女性特有のおしゃべりの仕方ができるのも、男性と女性の脳の違いによるものです。

男女の脳で最も違うところは、「脳梁（のうりょう）」という部分が、女性の方が太いことです。「脳梁」は右脳と左脳をつなぐ橋のような働きをするので、情報の行き来が素早く、多くの情報を同時に処理することができます。

一方、男性は「脳梁」が女性に比べて細く、部分的に脳を使います。他のことを忘れるくらい、一つのことに集中する力は、男性の方が強いので、男性に天才が多いのは、そのためだと思います。

与える、受け入れる

私の診察室の待合室で、女性同士よくおしゃべりしています。初対面にも関わらず、「わたしは、こんな手術をしたよ」から始まって、「どこであなたはどこの手術だったの。どんな手術だったの」と。しまいには、手術の跡の見せ合いまでやってしまう。これには、ほんとに驚きです。女性のコミュニケーションの取り方、まず相手に自分の情報を提供する、そして、相手からの情報を受け取る、そして、お互いの気持ちを共有する。すごいですね。男性が待合室にいても、こういう状況にはなかなかなりません。男性は、自分を出すことが苦手なんです。

絵本の「大きな木」は大好きです。この絵本からは、自分ができることを与え続けていく、「無償の愛」を、読み取ることができます。全てを与え、全てを受け入れる。与える度に「木は　それで　うれしかった」といいます。

「大きな木」の「木」は、母親が持っている「与えて喜ぶ」という感情のすばらしさを表現しているのではないでしょうか。だれに与えるとか、何を与えるということではなく、「与えるという行為」を大切にしてほしいと思います。

抱腹絶倒

講演会では、久高先生の話に、会場は「抱腹絶倒」。女性と男性の違いを次のように語りました。

その一　はかない人生

女性はよく「おしゃべり」をする。「おしゃべり」では絶えず息を吐く。息を吐くという行為は、医学的にみると新陳代謝を良くし、細胞を活性化させる。おしゃべりの少ない男性は、女性に比べて息を吐くという行為が少ないため、「はかない人生」になりがちである。

その二　わんから、わんから

男性は、自分からまず先にという気持ちが強い。食事の時、「わんから」、お風呂も「わんから」。だから、天国にいくのも「わんから」。平均寿命も女性より短い。

その三　お父さんいらない

子どもはお母さんが大好き。子どもは、母親の味方です。電話で「お父さん（居）る」と聞いたら「お父さん要らない」と返事があった。

ちょっといい話

笑いだけではなく、こんな話もありました。

①「誕生日は最も粗末な食事でいい。この日こそ母親を最も苦しめた日」だと思います。ですから、私は自分の誕生日には、母親に感謝の気持ちを込めて、プレゼントを持って行きます。

②「かんしゃく（癇癪）」から「く（苦）」を取ると「かんしゃ（感謝）」となる。常に不平不満を言う人には苦しみが付きまとい、常に感謝の気持ちで「愛」を与える人には、たらいの原理でいつか自分に帰ってくる。まずは出すこと、与えることである。

参加者の感想

・90分があっという間でした。男女の違い、少しわかったような気がします。男女で脳のつくりが異なるとは知りませんでした。男女共同参画っていっても、なにも男女が同じ行動・考え方をすることではない、お互いに違いを理解し認めあうことが大切だなと思いました。はたして家庭で実践できるか。頑張ります。（30代男性）

・自分の誕生日に母親へのプレゼント、女性として最高に嬉しいですね。「大きな木」の読み聞かせも、とてもステキでした。「無償の愛」を与えられる女性に成長したいと思います。（50代女性）

・とても楽しくて、あっという間に時間が過ぎていました。「与えるという心」つい忘れがちですが、夫、子ども、私のまわりにいる方たちへ感謝の心を忘れずに過ごしていきたいと思います。（40代女性）

・子どもを預けて、とても久しぶりにひとりの時間を過ごせました。やりたいこと、目標がたくさんあり、いつも子どもと泣いたり、悩んだりしていますが、女性という仕事を、これからも大切にしていきたいと思います。（20代女性）

・3歳、6歳の男の子を育てながら、自分の子ども時代との違いに戸惑うことが多いです。女と男の違い、また、人として大事なことを考えることができました。（30代女性）

・男女の脳のつくりが異なることで行動が違うことがよく分かりました。また、女性が社会（仕事）にはいりやすい社会システムになればいいなあと思います。自分も社会がどうあるべきかを考えさせられるきっかけになりました。（50代男性）

男女共同参画週間 フォトギャラリー

▲宣誓　鵜池さん・伊波さんが「てだこ女男プラン」の5つの基本理念を読み上げました。

▲新の会による立礼席「男性にお茶を点てて頂くと、緊張しますね。」と感想がありました。

▲沖縄ウクレレクラブ・メレアロハのみなさん　ウクレレのやさしい音色がロビーに響きました。

▲浦添市消防士　與那覇さん「妻は最高のパートナー」と、話してくれました。

▲市役所一階ロビーにて男女共同参画パネル展　多くの方が足を止めていました。

問い合わせ
男女共同参画推進ハーモニーセンター
☎874−5711